



路線バスに乗ろう!



路線バス利用者は大きく減っており、全国的にも赤字路線が廃止されています。路線バスがなくなると、通学や通院など日々の移動に困る人がいます。誰もが、いつまでも路線バスを利用できるよう、皆様のご協力をお願いします。

日高川町では、川原河から御坊市内へ通じる「熊野御坊南海バス 日高川線」が運行されています。一日往復7便（休日は6便）運行しており、高校への通学や、医療機関への通院、買い物での利用など、皆様の生活に必要な不可欠な路線です。

「でも、運賃結構高いし・・・」「乗ったことないし、ちょっとなあ・・・」そう思われる方も多いかもしれません。この度日高川町では、より多くの皆様に路線バスを利用していただけるよう、2つの制度をはじめました。制度を利用して、この機会にぜひバスに乗っていただき、まずはバスに慣れることから始めてみませんか。

時刻表はこちら↓



路線バス回数券購入費補助制度

◎補助対象者

町内に住所を有する人

◎補助内容

○補助金額

熊野御坊南海バスが販売する「ふれあい回数乗車券」の購入金額の**50%**

○年間上限数

1人 10冊まで
※回数乗車券は1冊2,000円(2,200円分)

◎購入方法

- まず、役場または各支所地域振興課で、本人確認書類を添えて、「割引券」を受け取る。
- 受け取った「割引券」を、回数券取扱窓口へ提出し、「回数乗車券」を購入する。

⇒ **1冊2,200円分の回数乗車券が、1,000円で購入できる!**
(5冊なら、5,000円で11,000円分!)

◎回数券取扱窓口

- 熊野御坊南海バス (御坊市藪37 ☎22-1020)
- 「熊野御坊南海バス 日高川線」のバス車内 (停車時に乗務員にお問合せください)



路線バス通学定期券購入費補助制度

◎補助対象者

町内在住の高校生等またはその保護者で、高等学校等に通学するために通学定期券を購入する人

◎補助対象経費

居住地の最寄りのバス停から高校等までの通学に要する路線バスの定期券購入費

◎補助金額

通学定期券運賃を購入月数で割った1ヵ月あたりの運賃から5,000円を差し引いた金額に、購入月数をかけた金額

1年通学定期券 (川原河⇄御坊駅) 購入の場合↓
補助金額 =
例 (185,470円÷12ヵ月-5,000円) ×12ヵ月=125,470円
⇒ 185,470円の定期券が5,000円×12ヵ月=60,000円で購入できます。

3ヵ月通学定期券 (早蘇中学校前⇄島) 購入の場合↓
補助金額 =
例 (45,140円÷3ヵ月-5,000円) ×3ヵ月=30,140円
⇒ 45,140円の定期券が5,000円×3ヵ月=15,000円で購入できます。

◎申請方法

熊野御坊南海バスで通学定期券を購入するときに、補助金交付申請書兼委任状に記入し、在学を証明する書類を添えて提出することで、補助金額を差し引いた金額で通学定期券を購入できます。



↑ 藤田久枝さん (ご自宅にて)

祝白寿

和5年3月20日(月)に、町長が白寿(99歳)をむかえられた藤田久枝



↑ 龍田柴子さん (ご自宅にて)

さん(川原河)、龍田柴子さん(船津)を訪問し、長寿を祝福しました。

農林中央金庫大阪支店から紀州材を活用したスタンドライトを寄贈いただきました

和5年3月28日(火)に、農林中央金庫大阪支店から町内産のスギで作ったスタンドライトを寄贈いただきました。寄贈いただいた製品は県森林組合連合会の協力のもと、地元産材の有効的な活用を目的に、創造的かつ魅力的な木製品アイデアを和歌山工業高等専門学校(和歌山)の学生や教職員に募集し、グランプリを受賞した作品を紀中森林組合が製品化したものです。今後、宿泊施設で使用し木材製品に親しんで「木の暖か味」を体感していただくものです。



第15回日高川町ビーチボールバレー大会が行われました

和5年3月5日(日)に、川辺西小学校体育館において、第15回日高川町ビーチボールバレー大会が行われました。12チーム67名の参加があり、結果は次のとおりです。(敬称略)

「優勝」

- フライコネクト
- 安達和代
 - 鳴川奈那
 - 幡蒼翔一
 - 丸山隆生
 - 洞島紅音
 - 北島音

「準優勝」

- TYRANT
- 鈴木彰
 - 玉置優
 - 北島辰馬
 - 岸野展幸
 - 中川達貴



→ 優勝 フライコネクト



→ 準優勝 TYRANT